



## いつまでも健康長寿を願って

6月23日、知事公館大会議室で「健康長寿埼玉モデル推進宣言署名式」が行われ、健康寿命の延伸と医療費の抑制を目指すことが宣言されました。



## ホテルが熊谷の夜を彩る

6月13日に江南総合文化会館ピア駐車場で「第7回こうなんホテル祭り」が、6月20日に別府沼公園で「第17回ホテル祭り」が開催されました。幻想的なホテルの光が会場を彩りました。



## 80歳で20本以上の歯を!

7月5日、「0・1・2・3さい くまっぺ広場」(イオン熊谷店3階)で一般社団法人熊谷市歯科医師会主催の8020よい歯のコンクール表彰式が行われました。普段から注意して健康な歯を保ちましょう!



## 駅で涼を体感しましょう!

7月7日、「暑さ対策」涼しさ体感アート事業の入選作品の表彰式が行われました。どの作品も涼しげで体感温度がぐっと下がりそうなものばかり。作品は熊谷・龍原両駅の階段で9月30日までご覧いただけます。



## いざという時に備えて

7月11日、見晴町地先の荒川左岸堤防で、荒川北縁・南縁合同水防訓練が実施されました。台風シーズンに備えて、水防団員による水防工法の実演や埼玉県防災航空隊の救出救助訓練が猛暑の中行われました。



## 市内の名所を巡る旅

6月13日・14日、「小さい旅」で名所を巡る無料シャトルバスが運行されました。参加者は、能護寺の満開のあじさいを観賞したり、妻沼聖天山周辺で貸し出された「えんむすび日傘」を使って観光を楽しみました。



## 一人でもくぐるよ

6月30日、高城神社で胎内くぐりが行われました。鳥居には、大きな茅の輪がかけられ、多くの人が参拝に訪れました。小さな子どもは、精いっぱい足を伸ばし茅の輪をくぐっていました。



## 青年海外協力隊員派遣

6月22日、本市在住の東清香さんがキルギス共和国に派遣されるのに伴い、市長を表敬しました。東さんは、任地で2年間コミュニティ開発に携わる予定です。



## 姉妹都市インバーカーギル市へ行ってきま〜す

7月6日、国際交流事業でニュージーランドへ派遣される熊谷女子高等学校の生徒20名が市長を訪問し、意気込みを語ってくれました。派遣先はサウスランド・ガールズ・ハイスクールです。たくさん学んで吸収して来てくださいね!



## 熱中症予防に向けていざ出陣

7月1日、市役所1階ロビーで熱中症予防声かけ出陣式が開催されました。熱中症患者を出さないことを目標に、暑さ対策に熱心な全国15の自治体が一斉に行ったもので、熊谷では市長のかけ声とともにスタートしました。



## みんなで一緒に涼もうよ

7月5日、コミュニティひろばで、クールシェアイベントが行われました。出展企業の暑さに対する取組みを、見たり、聞いたり、食べたり、踊ったりして知ることができ、大盛況でした。子ども達は氷おもちゃや水風船ハンターに夢中になっていました。

## おたよりパレット

### テーマ

### 忘れられない夏の思い出

楽しい思い出もあれば、苦しい思い出もあり、暑い夏ならではの出来事をお聞きすることができました。まだまだ熊谷の暑い夏が続いています。この夏も、素敵な思い出をたくさん残して、怪我のないように楽しんでください。おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ6月号で寄せられたご意見を紹介します。

- トンボを虫かごいっぱいに入れていた小学生時代。トンボを放すと元気よく飛び立ちそれを眺めて楽しんでいました。今では虫は一切触れません…(20代・女性)
- 小さいころ、山のぼりに行ったことで、家族で山をのぼると見たことない花や虫に感動したことを思い出しました。(40代・女性)
- 学校にプールがなく荒川大橋の下がプールがわりでした。白い旗が立っている時は泳いでよかったので、その時泳ぎについて溺れました。それ以来泳ぐのは苦手になりました。(70代・女性)
- 私が子供の頃は夏でも家中にお蚕を飼っていたので、外に縁台を出してそうめんを食べました。7人も家族がいたので、なおさら美味だったことを思い出します。(60代・女性)
- 夏の思い出は大学生の頃、仲間と泊まりで海に行ったことです。一晩中仲間と遊び歩いていたことを今でも懐かしく思い出します。(60代・男性)

## 読んで当てよう 市報クイズ

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「お弁当に必ず入れるもの」のコメントを必ず記入し、8月21日(金)までにご応募ください(一人につき一通)。※コメントがないものは無効となります。《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課

〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課  
☒ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp  
※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもってかえさせていただきます。

6月号の正解 ①こうなんホテル ②14  
◆応募総数35通中、正解31通

今月のテーマ、「お弁当に必ず入れるもの」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

- 今月の問題
- 次の□に入ることばを、それぞれお答えください。
- ① 熊谷空襲から□年 決して、風化させてはならない出来事
  - ② ニャオざねは「□」®グランプリ2015」にエントリーしています

今月のプレゼント

「藤川屋青春館」ご提供の地場産野菜ジュース(ポパイ、オリブ、白雪姫、紫式部から1品)を、正解者の中から抽選で15名に提供します。所在地:熊谷市妻沼1429 電話:048-588-5050



# 夢追人

## 「すごい」と言われる アーティスト目指し ハイパーフェルトアーティスト 藍川 りのさん



### 工作、絵を描くことが大好き

小さな頃から工作や絵を描くことが好きで、小学生の頃、友だちの間でフェルト手芸が流行り、私も作り始めたのが始まりでしょうか。でもその頃は、作品づくりと言うより、手芸としてお裁縫の練習をしていたくらいでした。中学生になってからは、絵を描くことに夢中になり、いろんな画材を試したり、毎日のように美術の先生に描いた絵を見せに行っていました。卒業式の日、その先生から、「何でもいから、絵を描くことを続ける

よな。」と言っていたいただいたの  
をよく覚えています。

### たくさんの経験が

### 今のチカラ

私、短大を2つ出てるんです。最初は、「絵を描くこと、歌うこと、人前でしゃべることが好き。」という全部が叶うのは幼稚園の先生だと思いい、幼児教育を専攻しました。そこでは、どうしたら子どもたちの気持ちを惹き付けられるのか、楽しみを共有できるのかについて学ぶことができました。でも、やっぱりもつと本格的に美術を学びたいと思い、卒業と同時に美術系の短大へ行きました。まず手作りの名刺を作つて気になる作家さんの個展などに出向いては、本人に直接お話を伺ったり、とにかくたくさんの人とお話をしました。やりたいことがあれば、すぐに行動！今も変わらず、どこでも突撃しています(笑)。

### 1秒でも長く

### 作品を見てもらいたい

美術短大の卒業制作の際、幼稚園の壁などに色画用紙



教室の様子と藍川さんの作品

で絵を作る「壁面装飾」をフェルトで作つたのが、フェルトアートの始まりです。今は、いろんな人にフェルトに親しんでほしいと思います、各地で教室を開催しています。その一方で、誰にも真似できない作品を目指して日々作っています。見てくれる方が「すごい！」って言うてくれるような、1秒でも長く見てもらえるような作品にしたいと願いを込めながら作っています。フェルトは手軽な素材だけど、実はこんなにすごい作品が出来るんだ！と思つてもらえるよう、「ハイパー」という肩書きに相應しいアーティストになれるよう頑張りますので、楽しみにしててください！

●発行日 平成27年8月1日 ●発行 熊谷市  
●編集 広報広聴課 〒360-08601 熊谷市宮町二丁目47番地1  
☎0485241111(内線2006) ☎0485202870

## ニャおざねゆる散歩



### 第5回 中央公園

#### ニャおざねが市内の公園を紹介します！

中央公園は、市役所の東側、市街地の中心部に位置しています。遊具のある子供広場をはじめ、軽スポーツやイベントなどが行える芝生広場などがあり、約9,000本もの樹木が四季折々に美しい花を咲かせます。まちなかにある緑いっぱいの空間は、市民の憩いの場として親しまれています。また、噴水、壁泉、カナル(水の流れ)などの施設が整っており、夏場は樹木が静かな木陰を提供するため、クールシェアスポットとしてリフレッシュに最適です。

所在地:宮町2-39 面積:3.1ha  
施設:子供広場、芝生広場、記念広場、噴水、壁泉、カナル  
遊具:複合遊具、滑り台、スプリング遊具、健康遊具等  
その他:災害時の広域避難所、駐車場なし

◆公園緑地課(大里庁舎) ☎0493-39-4806



遊具も充実してるにゃ〜



8月は3回鐘がなるにゃ〜

### 人口と世帯

平成27年7月1日現在(対前月比)  
■人口 201,483人(-104) 男 100,854人(-58) 女 100,629人(-46) ■世帯 84,600(+14)

「市報くまがや」8月号は、72,400部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり16円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>